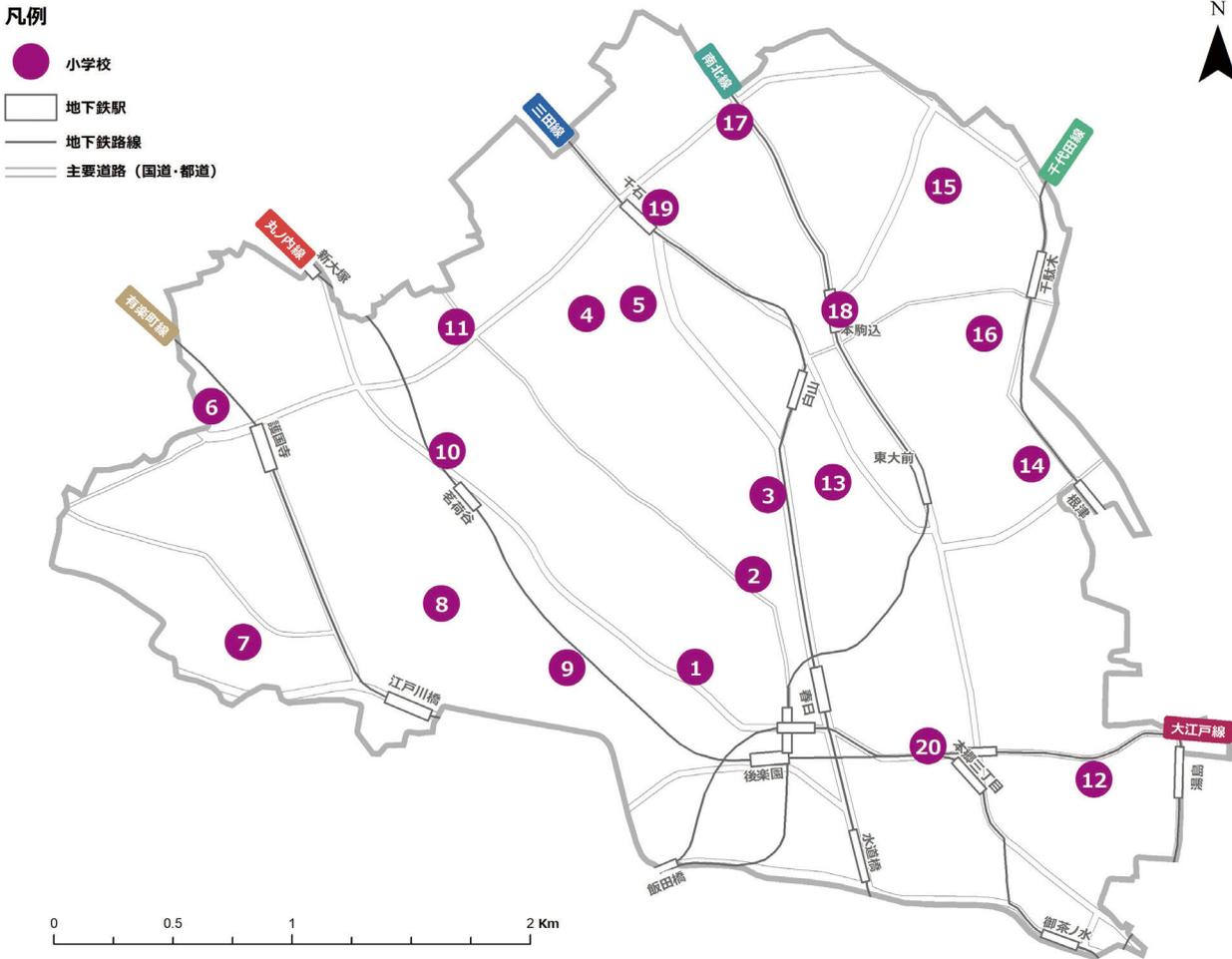


5 学校教育系施設

(1) 小学校

小学校の配置状況、施設の維持管理・更新等の方向性、施設の基本情報、成果や課題・今後の展開、維持管理費及び利用状況を示します。



番号	施設名称	番号	施設名称
1	礪川小学校	11	大塚小学校
2	柳町小学校	12	湯島小学校
3	指ヶ谷小学校	13	誠之小学校
4	林町小学校	14	根津小学校
5	明化小学校	15	千駄木小学校
6	青柳小学校	16	汐見小学校
7	関口台町小学校	17	昭和小学校
8	小日向台町小学校	18	駒本小学校
9	金富小学校	19	駕籠町小学校
10	窪町小学校	20	本郷小学校

図6-7 小学校の配置状況

施設の維持管理・更新等の方向性

- 20校中14校が築40年を経過し、うち3校は築80年を経過しています。老朽化した学校施設の改修・更新については、建築年数や施設の老朽化の程度のほか、近隣校の改築時期や併設・複合施設の状態等を考慮した上で、順次実施していきます。
- 今後の学校施設の整備に当たっては、可能な限り児童の学習や学校運営に支障のないよう配慮の上、改訂された「学校施設整備指針」等を踏まえ、安全で快適な環境を確保していく必要があります。
- 年少人口の推移を注視し、普通教室等の整備を実施していきます。また、地域施設としての学校の役割を考慮し、防災拠点機能の充実を図るとともに、区の施設との複合化など、地域の特性に応じた特色ある学校施設の整備を進めていきます。



施設の基本情報

番号	施設名称	運営形態	施設形態	延床面積 (m ²)	代表建物 (最も延床面積が大きい棟)		改修の実績			大規模改修・更新時期の目安 ^{※1}		
					建築年	構造	大規模改修	中・小規模改修		令和6年 (2024) ~	令和16年 (2034) ~	令和26年 (2044) ~
								外部	内部			
1	礪川小学校	直営	単独	5,064	1974	RC		2022	2021			更新
2	柳町小学校	直営	複合	6,766	1965	RC			2022	●更新		
3	指ヶ谷小学校	直営	複合	4,120	1961	RC		2022	2020		更新	
4	林町小学校	直営	単独	5,305	1972	RC		2019	2022			更新
5	明化小学校	直営	複合	4,545	1930	RC			2020	●更新		
6	青柳小学校	直営	単独	5,287	1960	RC		2021	2022		更新	
7	関口台町小学校	直営	単独	6,044	1979	RC			2022			更新
8	小日向台町小学校	直営	単独	5,008	1938	RC			2022	●更新		
9	金富小学校	直営	単独	6,469	1982	RC		2022	2021			更新
10	窪町小学校	直営	複合	10,044	2006	RC			2022			大規模改修
11	大塚小学校	直営	複合	3,937	1969	RC		2019	2022			更新
12	湯島小学校	直営	複合	7,580	1991	RC		2019	2022	大規模改修		
13	誠之小学校	直営	単独	8,785	2021	RC						大規模改修
14	根津小学校	直営	複合	4,803	1973	RC		2021	2022			更新
15	千駄木小学校	直営	複合	6,256	1936	RC		2022	2022	●更新		
16	汐見小学校	直営	複合	5,824	1987	RC		2022	2018	大規模改修		
17	昭和小学校	直営	複合	9,203	1996	RC			2021		大規模改修	
18	駒本小学校	直営	複合	5,312	1973	RC			2021			更新
19	鶯籠町小学校	直営	複合	4,178	1967	RC		2019	2021			更新
20	本郷小学校	直営	複合	9,211	2002	RC			2021		大規模改修	

※1 本管理計画の考え方を適用した場合の、大規模改修・更新時期の目安を示すもので、この時期の工事を確定するものではありません。実際には、個々の施設の老朽化状況、併設・複合施設や利用者の状況、時期が集中した場合の工事件数の調整等を検討した上で工事を行うため、実施時期が前後することがあります。

※2 小学校の延床面積にはリースしている建物の面積も含めて示しています。

成果や課題・今後の展開

【柳町小学校】

- 令和4(2022)年度にⅠ期校舎が竣工しました。Ⅱ期校舎の建設に向け、令和5(2023)年9月より埋蔵文化財発掘調査を行っています。

【明化小学校】

- 令和5(2023)年7月にⅠ期校舎が竣工しました。Ⅱ期校舎の建設に向け、令和5(2023)年9月より解体工事を行っています。

【小日向台町小学校】

- 令和3(2021)年度及び令和4(2022)年度に小日向台町小学校等改築基本構想検討委員会を行い、「文京区立小日向台町小学校等改築基本構想」を取りまとめました。これに基づき、更新に向けて令和5(2023)年度から基本・実施設計を行っています。

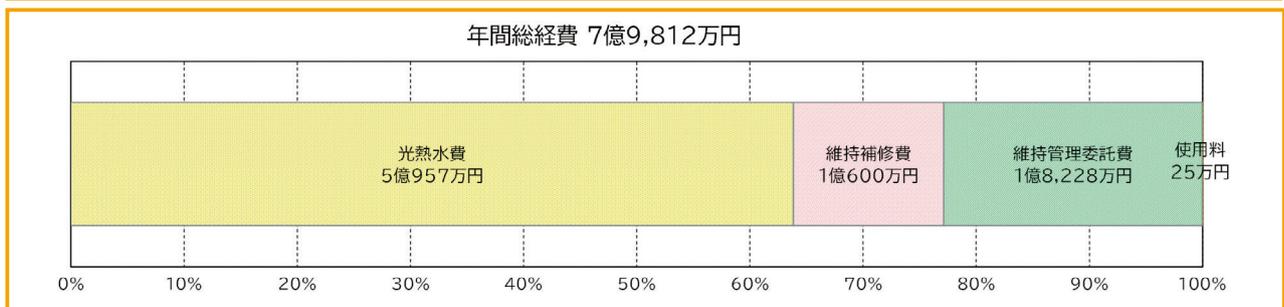
【誠之小学校】

- 令和5(2023)年12月にⅡ期校舎が竣工しました。令和6(2024)年6月の全体竣工に向け、令和6(2024)年1月から校庭整備を行います。

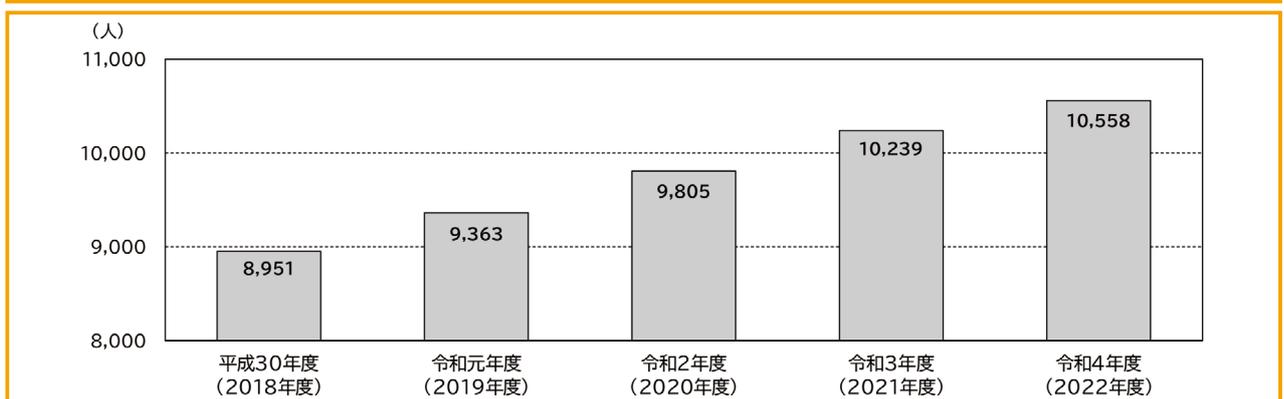
【千駄木小学校】

- 令和3(2021)年度から令和5(2023)年度までに千駄木小学校等改築基本構想検討委員会を行い、千駄木小学校、文林中学校、千駄木幼稚園及び同一敷地内にある育成室の一体的更新について検討しています。

区立小学校の維持管理費（令和4(2022)年度）

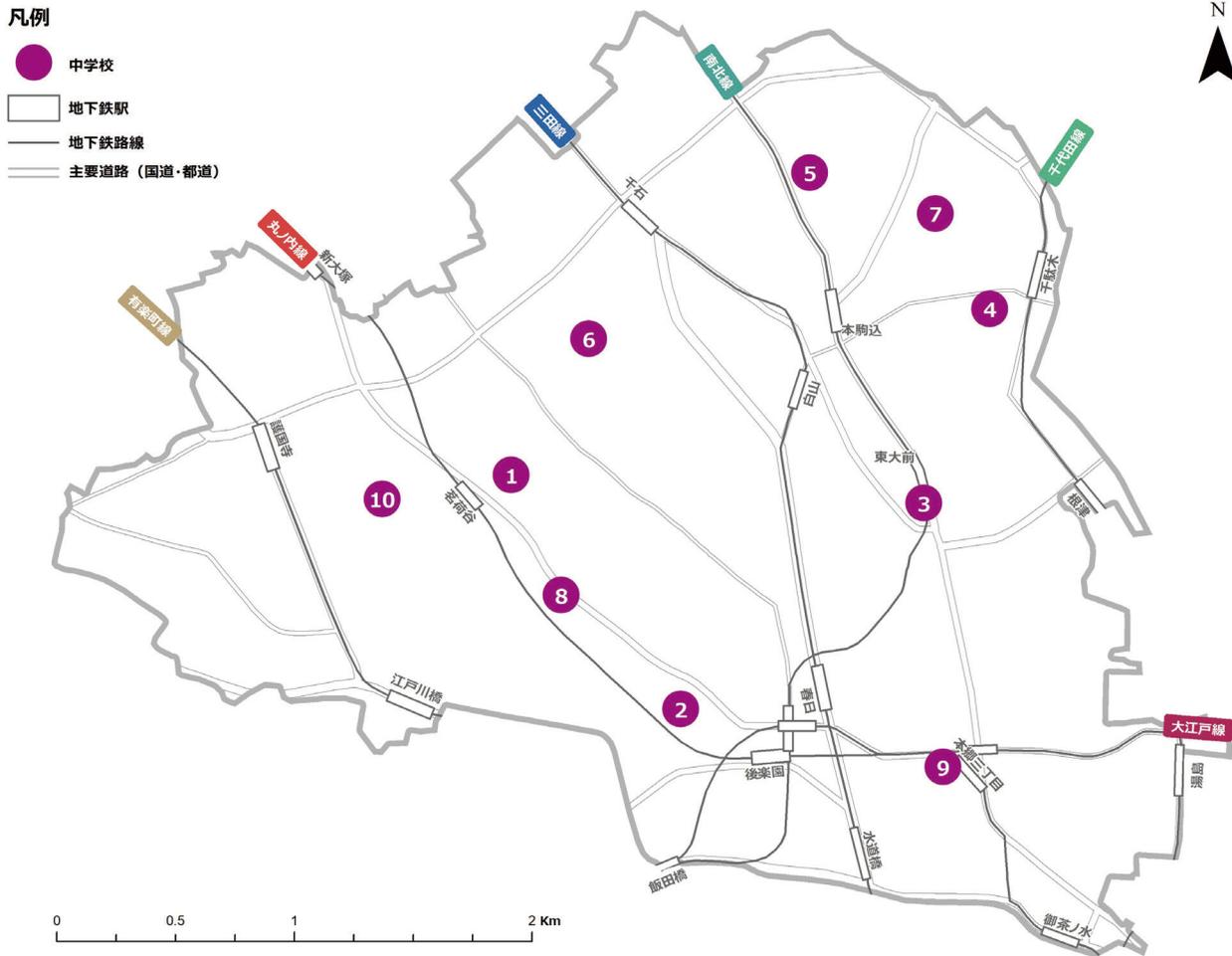


区立小学校の児童数の推移



(2) 中学校

中学校の配置状況、施設の維持管理・更新等の方向性、施設の基本情報、成果や課題・今後の展開、維持管理費及び利用状況を示します。



番号	施設名称
1	第一中学校
2	第三中学校
3	第六中学校
4	第八中学校
5	第九中学校
6	第十中学校
7	文林中学校
8	茗台中学校
9	本郷台中学校
10	音羽中学校

図6-8 中学校の配置状況

施設の維持管理・更新等の方向性

- 10校中7校が築40年を経過しています。老朽化した学校施設の改修・更新については、建築年数や施設の老朽化の程度のほか、近隣校の改築時期や併設・複合施設の状態等を考慮した上で、順次実施していきます。
- 今後の学校施設の整備に当たっては、可能な限り生徒の学習や学校運営に支障のないよう配慮の上、改訂された「学校施設整備指針」等を踏まえ、安全で快適な環境を確保していく必要があります。
- 現状の教育環境を維持するために適切に管理を行っていきます。また、地域施設としての学校の役割を考慮し、防災拠点機能の充実を図るとともに、区の施設との複合化など、地域の特性に応じた特色ある学校施設の整備を進めていきます。

施設の基本情報

番号	施設名称	運営形態	施設形態	延床面積 (m ²)	代表建物 (最も延床面積 が大きい棟)		改修の実績			大規模改修・更新 時期の目安 ^{※1}		
					建築年	構造	大規模 改修	中・小規模 改修		<div style="display: flex; align-items: center; gap: 5px;"> 着工済 /予定 ● : 大規模改修 </div>		
								外部	内部	令和6年 (2024) ~	令和16年 (2034) ~	令和26年 (2044) ~
1	第一中学校	直営	単独	7,579	1962	RC		2019	2021		更新	
2	第三中学校	直営	単独	6,909	1966	RC		2022	2022			更新
3	第六中学校	直営	複合	8,642	2013	RC						大規模 改修
4	第八中学校	直営	単独	5,144	1960	RC		2020	2022		更新	
5	第九中学校	直営	単独	7,503	1972	RC		2018	2022			更新
6	第十中学校	直営	単独	6,120	1957	RC		2021	2017		更新	
7	文林中学校	直営	複合	5,202	1971	RC		2018	2020			更新
8	茗台中学校	直営	複合	9,639	1993	RC			2022	大規模改修		
9	本郷台中学校	直営	単独	6,756	1971	RC		2017	2021			更新
10	音羽中学校	直営	単独	9,005	2009	RC						大規模 改修

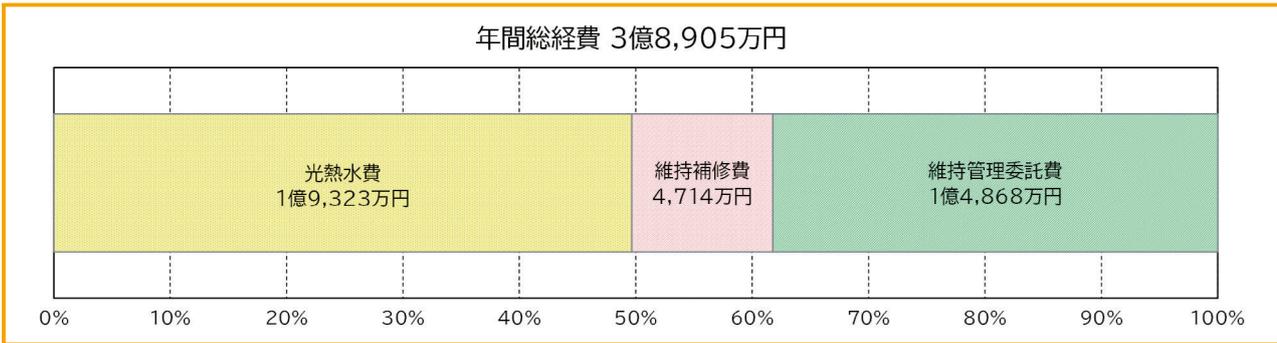
※1 本管理計画の考え方を適用した場合の、大規模改修・更新時期の目安を示すもので、この時期の工事を確定するものではありません。実際には、個々の施設の老朽化状況、併設・複合施設や利用者の状況、時期が集中した場合の工事件数の調整等を検討した上で工事を行うため、実施時期が前後することがあります。

成果や課題・今後の展開

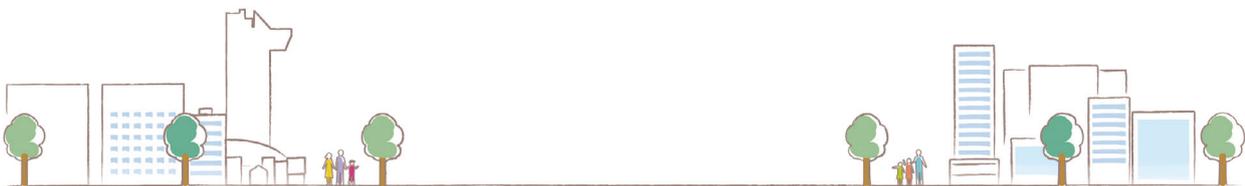
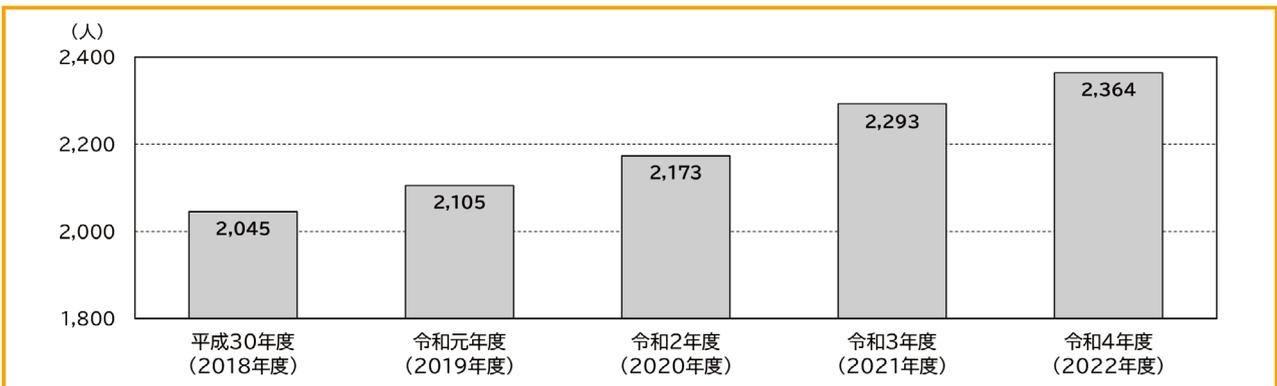
【文林中学校】

- 隣接する千駄木小学校の更新に合わせて更新等を検討します。

区立中学校の維持管理費（令和4(2022)年度）



区立中学校の生徒数の推移



施設の維持管理・更新等の方向性

- 10施設中8施設で築30年を経過しています。老朽化した幼稚園の改修・更新については、建築年数や施設の老朽化の程度のほか、近隣校の更新時期や併設・複合施設の状況等を考慮した上で、順次実施していきます。
- 今後の幼稚園の整備に当たっては、改訂された「学校施設整備指針」等の内容についても対応し、地域の子育てニーズを考慮した上で、必要諸室の計画をする必要があります。
- 区立幼稚園の認定こども園への移行については、校舎の改修・更新に合わせて実施することとし、定員及び体制等については、その時点における待機児童の状況などを踏まえ、個別に判断していきます。
- 本駒込幼稚園は、都営住宅、勤労福祉会館、図書館等との複合施設であるため、必要な改修等について東京都や他施設と調整の上、総合的に検討していきます。

施設の基本情報

番号	施設名称	運営形態	施設形態	延床面積 (m ²)	代表建物 (最も延床面積が大きい棟)		改修の実績			大規模改修・更新時期の目安 ^{※1}			
					建築年	構造	大規模改修	中・小規模改修		着工済/予定	◎: 大規模改修 ●: 更新		
								外部	内部		令和6年 (2024) ~	令和16年 (2034) ~	令和26年 (2044) ~
1	第一幼稚園	直営	単独	1,142	1972	RC			2019		更新		
2	柳町幼稚園 (柳町こどもの森)	直営	複合	1,291	2023	RC							大規模改修
3	明化幼稚園	直営	複合	1,589	2023	RC							大規模改修
4	青柳幼稚園	直営	併設	626	1968	RC			2018		更新		
5	根津幼稚園	直営	複合	655	1958	RC		2019			更新		
6	小日向台町幼稚園	直営	複合	828	1974	RC			2019	●更新			
7	本駒込幼稚園	直営	複合	810	1974	RC		2019	2020	◎大規模改修			
8	千駄木幼稚園	直営	単独	1,188	1975	RC			2019		更新		
9	後楽幼稚園	直営	単独	896	1979	RC			2019	●更新			
10	湯島幼稚園	直営	複合	904	1980	RC			2019	●更新			

※1 本管理計画の考え方を適用した場合の、大規模改修・更新時期の目安を示すもので、この時期の工事を確定するものではありません。実際には、個々の施設の老朽化状況、併設・複合施設や利用者の状況、時期が集中した場合の工事件数の調整等を検討した上で工事を行うため、実施時期が前後することがあります。

※2 後楽幼稚園は、小石川地方合同庁舎(仮称)への移転を予定しているため表中は●(更新)としています。

※3 湯島幼稚園は、旧元町小学校への移転を予定しているため表中は●(更新)としています。

成果や課題・今後の展開

【柳町幼稚園(柳町こどもの森)】

- 令和4(2022)年度に園舎が竣工しました。令和8(2026)年度に隣接する柳町小学校の更新に合わせて園庭を整備し、令和9(2027)年度以降に認定こども園化します。

【明化幼稚園】

- 令和5(2023)年10月に園舎が竣工しました。令和8(2026)年度に隣接する明化小学校の更新に合わせて園庭を整備し、令和9(2027)年度以降に認定こども園化します。

【小日向台町幼稚園】

- 隣接する小日向台町小学校の更新に合わせて園舎を整備します。

【本駒込幼稚園】

- 大規模改修に向けて令和6(2024)年度に実施設計を行います。

【千駄木幼稚園】

- 隣接する千駄木小学校の更新に合わせて更新等を検討します。

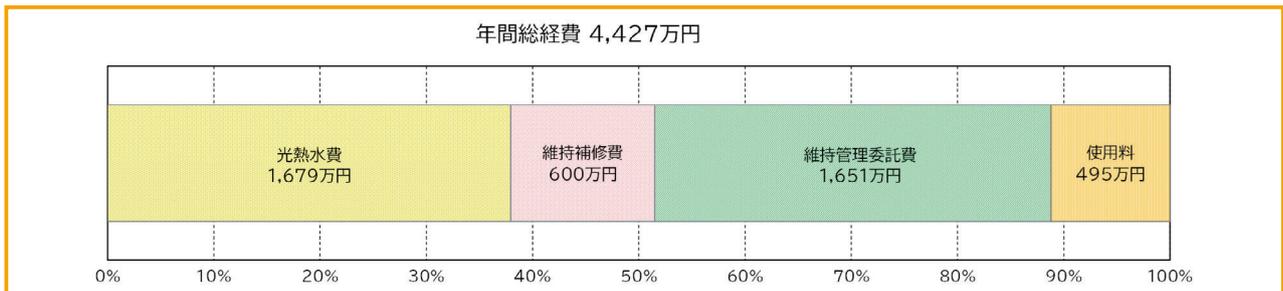
【後楽幼稚園】

- 令和7(2025)年度の移転に向けて、後楽一丁目エリアマネジメント事業による、小石川地方合同庁舎整備の一環として園舎を整備します。令和8(2026)年度に園庭を整備し、令和9(2027)年度以降に認定こども園化します。

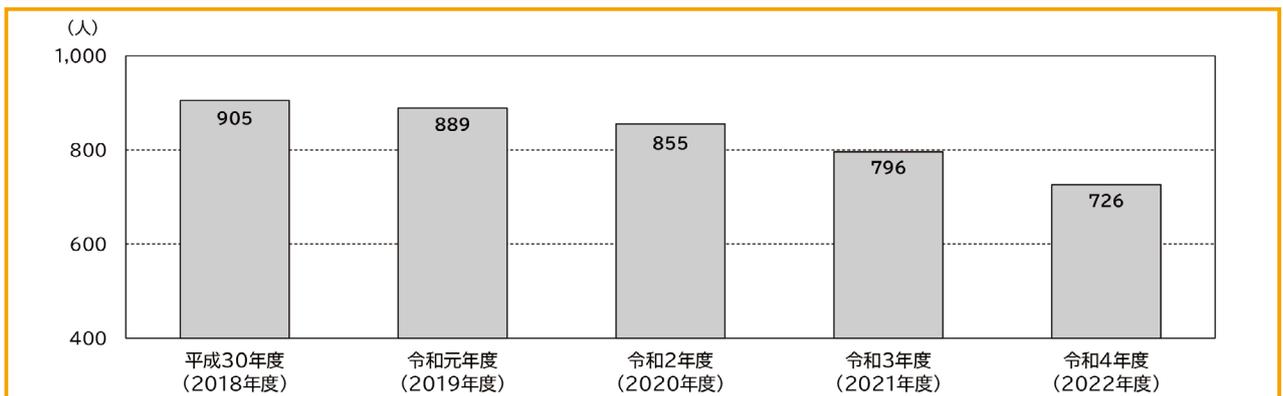
【湯島幼稚園】

- 令和6(2024)年度の移転に向けて、旧元町小学校と元町公園との一体的活用事業の一環として園舎を整備します。令和7(2025)年度に認定こども園化します。

区立幼稚園の維持管理費（令和4(2022)年度）



区立幼稚園の園児数の推移



(4) その他教育施設

その他教育施設の配置状況、施設の維持管理・更新等の方向性、施設の基本情報、成果や課題・今後の展開、維持管理費及び利用状況を示します

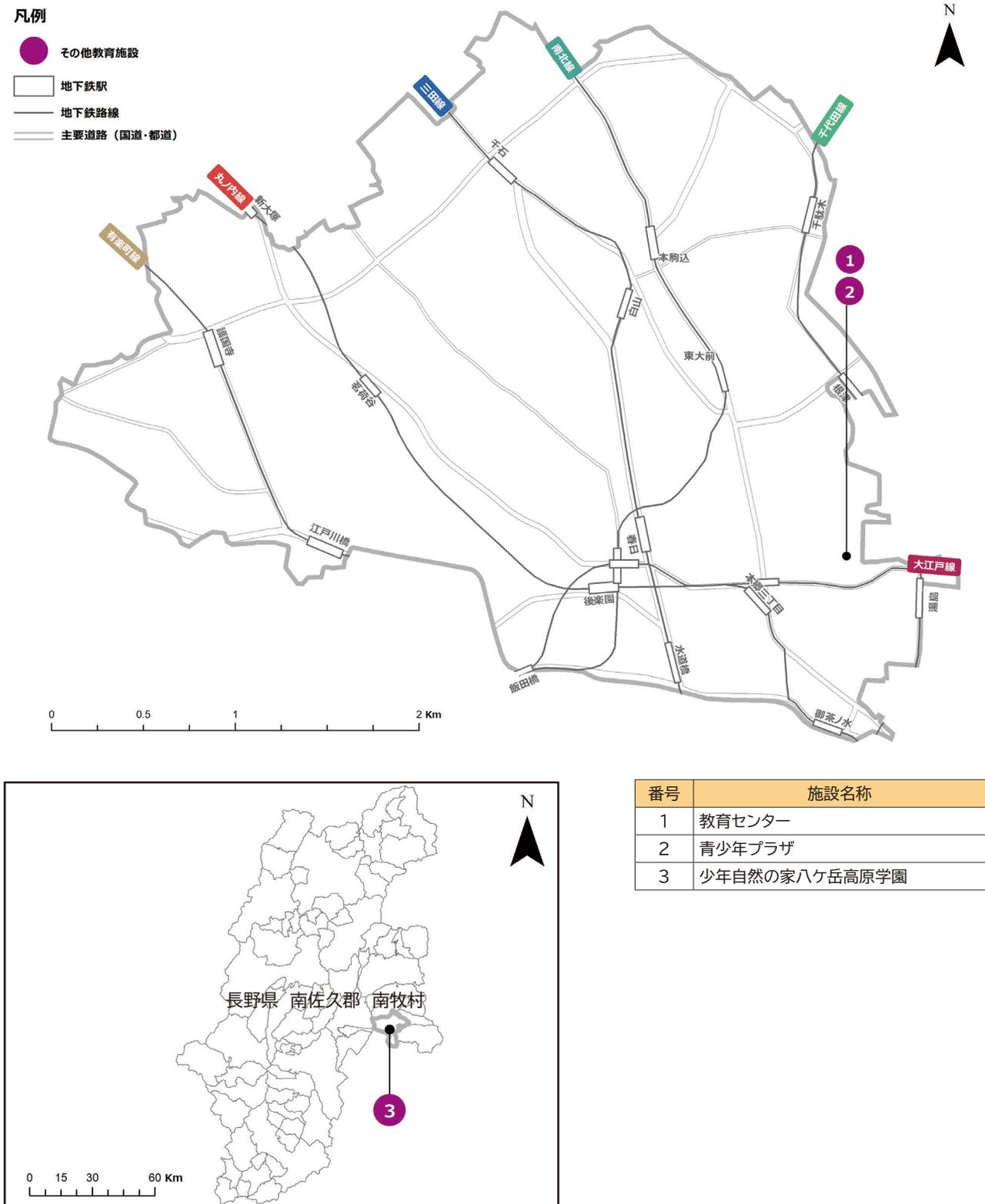


図6-10 その他教育施設の配置状況

施設の維持管理・更新等の方向性

- 教育センターは、令和6(2024)年度で開館から10年目となるため、ロビーの照明やLED照明の交換などが必要になっています。加えて、多くの設備が自動制御されており、小破修理であっても高額な修理費用を要するケースが多いことから、計画的に修繕を進めていく必要があります。また、実施している各種事業については、社会情勢や利用者ニーズの変化に伴い、施設の使用方法について常に見直しや対応が求められるため、既存事業の見直しや新規事業の立ち上げの際には、施設改修も見据えた上で、計画的に取り組んでいきます。
- 青少年プラザは、利用者数が例年2万5千人程度と中高生の居場所として需要があり、令和6(2024)年度で開館から10年目となるため、ホールの照明、プレイヤードの防音幕、LED照明の交換など、設備関係の更新を計画的に進め、施設を維持していく必要があります。また、現在は区の東地区に1施設が設置されていることから、公有地を活用し、区の西地区における設置検討も進めています。
- 少年自然の家八ヶ岳高原学園は、年少人口の増により、移動教室の利用実績が増加傾向にあるため、引き続き、指定管理者による維持管理を行うとともに、必要に応じて、設備機器等の更新を行っていきます。

施設の基本情報

番号	施設名称	運営形態	施設形態	延床面積 (m ²)	代表建物 (最も延床面積が大きい棟)		改修の実績			大規模改修・更新 時期の目安 ^{※1}			
					建築年	構造	大規模改修	中・小規模改修		着工済/予定			
								外部	内部	令和6年 (2024)～	令和16年 (2034)～	令和26年 (2044)～	
1	教育センター	直営	複合	6,314	2015	RC							大規模改修
2	青少年プラザ	公設 民営	複合	432	2015	RC							大規模改修
3	少年自然の家 八ヶ岳高原学園	指定 管理	単独	9,004	1975	RC	2022		2020				更新

※1 本管理計画の考え方を適用した場合の、大規模改修・更新時期の目安を示すもので、この時期の工事を確定するものではありません。実際には、個々の施設の老朽化状況、併設・複合施設や利用者の状況、時期が集中した場合の工事件数の調整等を検討した上で工事を行うため、実施時期が前後することがあります。

成果や課題・今後の展開

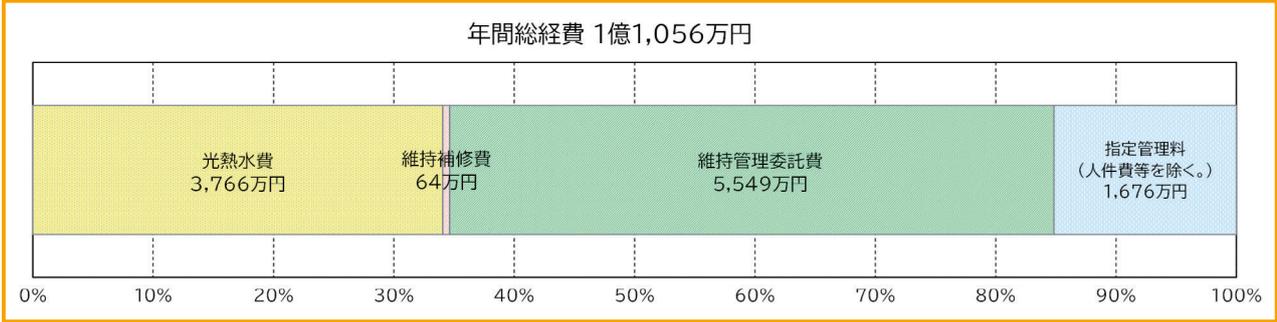
【青少年プラザ】

- 旧大塚地域活動センター跡地を活用する方向性で、区の西地区における青少年プラザの設置検討を進めます。

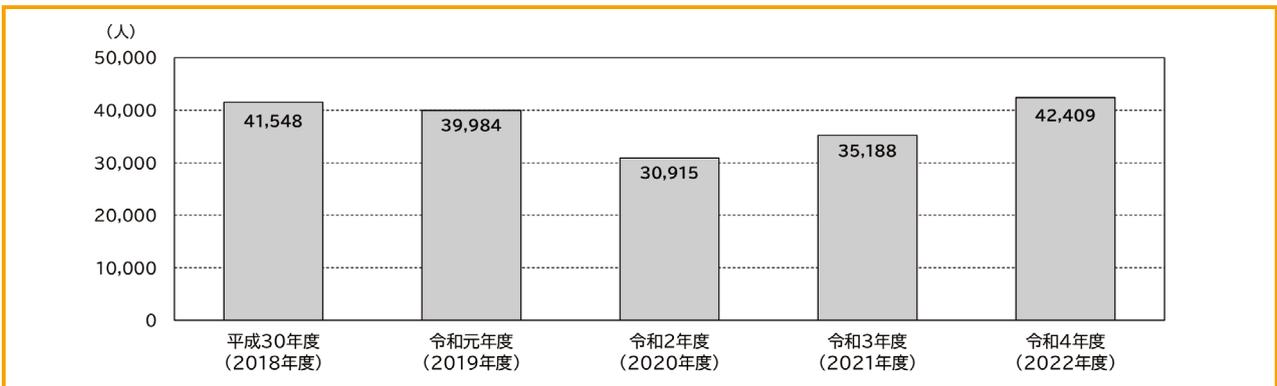
【少年自然の家八ヶ岳高原学園】

- 築40年以上が経過し、設備及び浴室棟について老朽化が進行したため、令和4(2022)年度に大規模改修工事を実施しました。

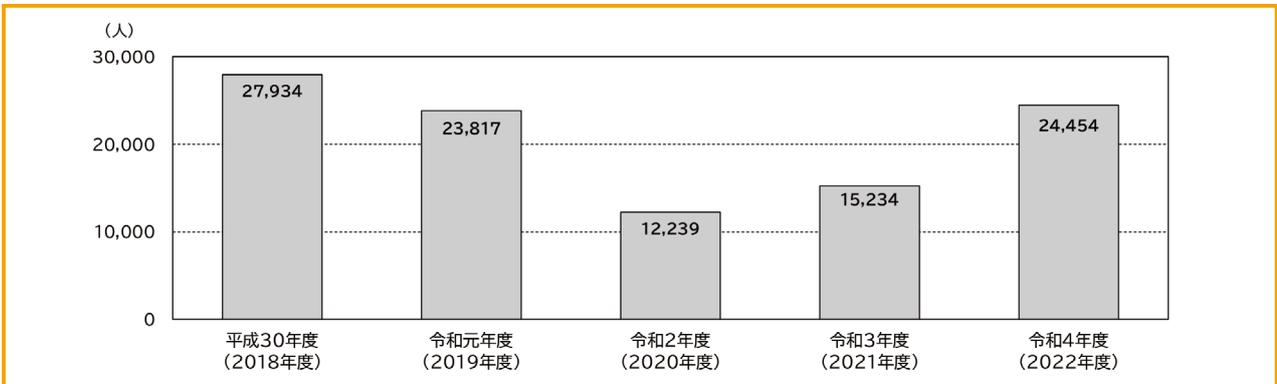
その他教育施設の維持管理費（令和4(2022)年度）



教育センターの利用者数の推移



青少年プラザの利用者数の推移



少年自然の家八ヶ岳高原学園の利用者数の推移

